



大雨について知っておきたいこと

雨に関する用語や情報の意味を理解しよう

気象災害から身を守るため、危険度の高まりに応じて注意報・警報・特別警報が段階的に発表されます。また、災害の切迫度に応じて避難情報等が5段階の警戒レベルで発表されます。これらの情報がどのような意味なのかを日頃から確認し、いざ発表されたときに速やかに対応できるように心がけましょう。

雨の強さと降り方 雨量や雨の強さを表す用語が、どの程度の雨の降り方を表しているのかを知っておきましょう。

1時間雨量	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
降り方のイメージ	 ザーザーと降る雨	 どしゃ降りの雨	 バケツをひっくり返したような雨	 滝のように降る雨	 息苦しくなるような圧迫感がある雨
浸水害・洪水害の発生状況	この程度の雨でも長く続くと災害が発生するおそれがあるため注意が必要	側溝や下水、小さな川があふれる	下水管から雨水があふれる	マンホールから水が噴出する	大規模な災害が発生するおそれが強く、嚴重な警戒が必要
土砂災害の発生状況		小規模のかけ崩れが始まる	かけ崩れ、地すべりが起きやすい	土石流が起こりやすい	

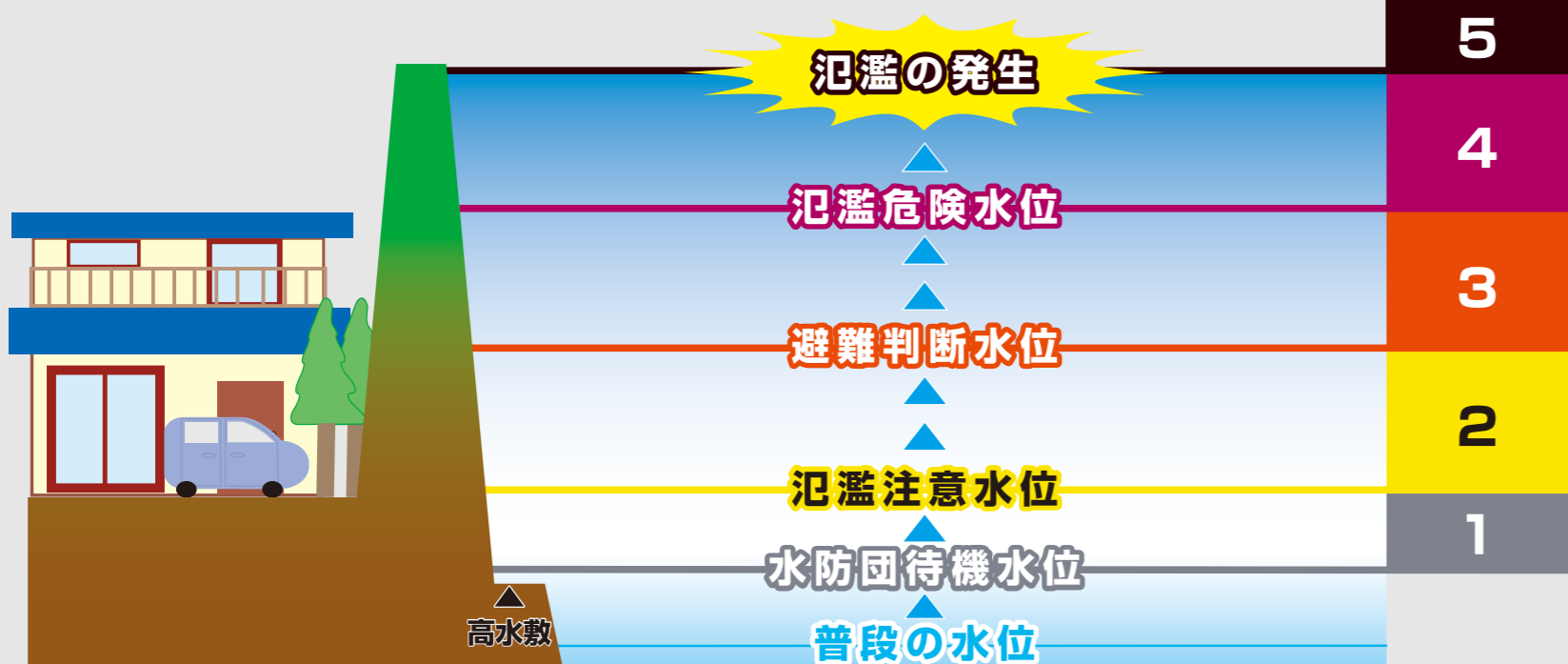
気象庁が発表する情報

災害が発生するおそれがあると予想したときは、警報や注意報を発表して災害に対する警戒や注意を呼びかけます。



洪水予報

北海道は朱太川の中流(緑橋)と下流(実橋)地点で避難の目安となる避難判断水位を定め、各水位がこれに到達したときはその旨を住民へ周知します。水位の情報や洪水予報は、報道機関のほか、国土交通省「川の防災情報」のホームページからも閲覧することができます。



水位危険度レベル
5
4
3
2
1

洪水情報	とるべき行動	警戒レベル※
〇〇川氾濫発生情報	すでに河川が氾濫している状態です。命を守る最善の行動をとってください。	警戒レベル5相当
〇〇川氾濫危険情報	いつ氾濫してもおかしくない状態です。すみやかに避難し、身の安全を確保してください。	警戒レベル4相当
〇〇川氾濫警戒情報	氾濫の危険がある状態です。避難情報を確認し、早めの避難を心がけてください。	警戒レベル3相当
〇〇川氾濫注意情報	河川の水位上昇が見込まれる状態です。最新情報に注意し、警戒してください。避難準備を始め、いつでも避難できるようにしてください。	警戒レベル2相当
発表なし	気象情報等に注意してください。	

※「警戒レベル」に関しては4ページを参照してください。